

津山高校

第6号



関東同窓会だより

総会報告、集合写真で振り返る関東同窓会の5年、津山高校ニュース、
作州のニュース、活躍する卒業生たち、私一枚、コロナ禍で、
「多賀育英会」の生みの親、多賀二夫氏について、
同窓会役員・常任委員一覧

<http://tsukou-kanto.com>

QRコード



議事次第

一号議案	2019年度活動報告	四号議案	2020年度予算案
二号議案	2019年度決算報告・会計監査報告	五号議案	2020年度～2021年度役員案
三号議案	2020年度活動計画案		

ごあいさつ

関東同窓会会長 増田 美子



令和2年10月10日に開催予定であった関東同窓会は、残念ながら、新型コロナウイルスの流行拡大に伴い懇親会は中止とし、総会は書面にて行うことと致しました。会員の皆様には「2020年度総会議案書」をお送りし、議案の表決は「書面表決(返信用はがき又はオンラインによる)」という異常事態となってしまいましたが、皆様のお力添えにより、無事総会を終えることが出来ました。表決結果は葉書での返信が253名、オンラインが16名の計269名で、議案すべてに賛成が264名、白紙が5名でした。会則17条では「決議は出席者の過半数の同意によるものとする」となっておりますので、本議案は全て原案通り承認されました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

令和3年度の総会・懇親会は、9月25日(土)にアイビーホール青学会館での開催を予定しております。以前のような形で無事開催できることを信じて、令和2年の幹事学年(46期)が引き続き正幹事として、また47期も副幹事として準備を進めてくださっておりますので楽しみにお待ちしております。

※コロナ禍が収まらない為、誠に残念ですが、2021年度の総会・懇親会の対面形式での開催は中止といたしました。詳細は本会報の裏表紙をご覧ください。

2019年度決算報告・活動報告(2019年4月1日～2020年3月31日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	745,000
年会費	892,000
ご祝儀	60,000
預金利息	5
広告協賛金	150,000
その他 ※1	324,000
年度実収入計	2,171,005
前年度繰越金	1,602,558
収入合計	3,773,563

※1 内訳	活動支援金	179,000
	新入生歓迎会活動資金	80,000
	寄付金	65,000

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費用	857,728
会議費用	401,147
印刷費等※2	316,764
通信費等	416,819
ホームページ運営費	6,994
振込手数料(郵便振込)	71,579
受取人払い(返信ハガキ)	37,730
その他(その他・手数料)	6,512
年度実支出計	2,115,273
翌年度繰越金	1,658,290
支出合計	3,773,563

※2 内訳	会報印刷費	189,000
-------	-------	---------

2019年度津山高校関東同窓会活動報告

05/06	編集委員会(会報第4号第5回)
06/08	編集委員会(会報第4号第6回)
06/29	拡大役員会 編集委員会(会報第4号第7回)
07/20	総会案内・会報封入及び発送作業
09/07	拡大役員会 編集委員会(会報第5号第1回)
09/28	2019年度総会・懇親会
11/30	拡大役員会・忘年会 編集委員会(会報第5号第2回)
02/01	ホームページ委員会第1回
03/14	拡大役員会— 新型コロナの流行により中止。 オンライン編集委員会 (会報第5号第3回)

2020年度予算・活動計画(案)(2020年4月1日～2021年3月31日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	0
年会費	900,000
ご祝儀	0
預金利息	10
広告協賛金	150,000
その他(寄付・活動支援金他)	100,000
年度実収入計	1,150,010
前年度繰越金	1,658,290
収入合計	2,808,300

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費用	0
会議費用	200,000
印刷費等	300,000
通信費・発送委託費等	550,000
ホームページ運営費	10,000
振込手数料(郵便振込)	70,000
受取人払い(返信ハガキ)	45,000
その他(その他・手数料)	10,000
年度実支出計	1,185,000
翌年度繰越金	1,623,300
支出合計	2,808,300

2020年度津山高校関東同窓会活動計画(案)

04/04	新入生歓迎会—新型コロナ流行により中止
05/01	オンライン編集委員会 (会報5号第4回・初校校正作業)
05/18	オンライン編集委員会(会報5号第5回)
05/25	オンライン役員会 オンライン編集委員会 (会報5号第6回・再校校正作業)
06/12	オンライン編集委員会 (会報5号第7回・三校校正作業)
06/13	常任委員会—新型コロナ流行により中止
07/06	オンライン役員会
8月初旬	総会資料・同窓会報5号発送
9月上旬	役員会での書面総会の確認
10/10	総会・懇親会—懇親会は中止。 総会は書面開催。
12月	忘年会・編集委員会(会報第6号第1回)
2月	拡大役員会・編集委員会(会報第6号第2回)
3月	常任委員会・編集委員会(会報第6号第3回)

46期幹事あいさつ

私たち46期は、45期の先輩方から引き継ぎを受け、2020年の関東同窓会総会・懇親会を10月に霞が関の東海大学校友会館で挙行すべく、準備を進めてきました。

しかし、コロナ禍で中止。2021年も会場を予約していた東海大学校友会館は、営業不振で閉館してしまいました。新たに依頼した青学会館ⅠVY HALLも業績悪化で閉館。

無事開催の暁には、先輩も後輩も元気な姿をお見せ下さい。そしてみんなで、「名も美作の～」と、高らかに校歌を歌いましょう。(2021年2月17日)

(46期幹事 山下弘展)



役員紹介

会長	増田 美子 (昭37卒)
副会長	竹内 妙子 (昭36卒)
	中島 純三 (昭42卒)
	水田 潤子 (昭46卒)
	山本 大 (事務局長兼務 昭49卒)
	日下 康幸 (平4卒)
監事	佐菜 慎二 (昭36卒)
	泉 昭正 (昭37卒)
顧問	片岡 廣治郎 (昭35卒)

岡山県立津山高等学校関東同窓会会則

(総則)

第1条 本会は、岡山県立津山高等学校関東同窓会と称し、略称として津山高等学校関東同窓会を用いる。本会の設立は、1958年5月26日である。

第2条 本会の所在地は、東京都豊島区池袋2・57・2である。

第3条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に助力することを目的とする。

第4条 本会は、その目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 総会・懇親会の開催。
- 二 会報誌「津山高校関東同窓会だより」の発行。
- 三 その他本会の目的達成に必要な事項。

(会員)

第5条 本会は、次の各号の者を会員として組織する。

- 一 関東地域在住者で、岡山県立津山中学校・同津山高等女子学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校を卒業した者、及び各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者。
- 二 関東以外の地域在住者で、岡山県立津山中学校・同津山高等女子学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者。

第6条 本会の会員は、所定の会費(2,000円)を納入するものとする。

第7条 本会の事業を妨げ、または本会の名誉を汚すような行為をした者は、役員会の決議によって除名することができる。

(役員・委員)

第8条 本会には、次の役員及び常任委員をおく。

- 一 役員
会長1名 副会長 5名以内 事務局長 1名 監事 2名
- 二 常任委員
原則として各期男女各1名ずつ

第9条 会長は役員会が推薦し、総会の承認を経るものとする。

第10条 副会長、事務局長及び監事は会長が任命し、総会の承認を経るものとする。

第11条 会長は本会を代表し、会務を統括する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、副会長の内の1名がこれを代行する。会長業務を代行する副会長の選出は、副会長間の互選によるものとする。
事務局長は、本会の事務全般を統括する。監事は、本会の資産の状況・役員会の業務執行状況を監査する。

第12条 常任委員は、原則として各期で選出するものとする。

第13条 会長は、必要に応じて若干名の総務担当委員を任命することができる。総務担当委員は、庶務・会計等の業務を担当する。

2 本会は必要に応じて顧問をおくことができる。顧問は、役員会の推薦による。

第14条 役員、常任委員、総務担当委員及び顧問の任期は2年とする。ただし、重任を妨げない。

(会議)

第15条 本会の会議は、総会、役員会、拡大役員会及び常任委員会とする。

第16条 総会は年1回の通常総会と臨時総会とし、臨時総会は必要に応じて開く。

第17条 総会は会長が招集し、決議は出席者の過半数の同意によるものとする。

第18条 総会は次の事項を承認または決議する。

- 一 事業計画及び収支予算の決議に関する事項。
- 二 前年度の事業報告及び収支決算の承認に関する事項。
- 三 会則の変更に関する事項。
- 四 役員を選任に関する事項。
- 五 その他役員会で必要と認められた事項。

第19条 役員会は、役員により構成され、必要に応じて会長が招集する。

第20条 拡大役員会は、役員・総務担当委員及び当該年度総会開催担当期幹事により構成され、必要に応じて会長が招集する。

第21条 常任委員会は、役員・総務担当委員及び常任委員により構成され、必要に応じて会長が招集する。

(会計)

第22条 本会の経費は、会費・寄付金及びその他の収入をもってあてる。

第23条 本会の会計年度は4月1日より始まり、翌年3月31日に終わる。

(改正)

第24条 本会則の改正は、総会の決議により行う。

(付則)

- (1) 本会則は1958年5月26日より施行する。
- (2) 本会則は2008年6月14日より施行する。
- (3) 本会則は2010年9月11日より施行する。
- (4) 本会則は2012年9月29日より施行する。
- (5) 本会則は2016年9月24日より施行する。
- (6) 本会則は2018年9月29日より施行する。



2015年9月27日 とっとり・おかやま館 143人 平2卒幹事

集合写真でふり返る関東同窓会の5年

2015～2019



2016年9月24日 ホテルグランドパレス 153人 平3・平4卒幹事

NHK 会友
中村 宏
 津山高校いざよう会 (11期)

昭和 35 年卒

一般社団法人 進化経営学院
 創設の辞
 逆境練機 転原自在
 経営進化 互惠共栄
 代表理事 **黒田悦司**
 〒311-3508 茨城県行方市沖洲1543-10
 ☎ 0299-57-0377
 URL <http://rinen.gr.jp/>

昭和 37 年卒

空調風道機器総合メーカー
UCAN. UCAN CO.,LTD.
空調風道機器総合メーカー
 代表取締役 **安藤 馨**
ユーキャン株式会社 加温器、全熱交換器、ドレン処理機
 本社
 〒193-0832 東京都八王子市敷田町5-6-19
 TEL042-665-8846 FAX042-661-3887
 (携帯電話 090-3192-2631)
 URL <http://www.ucan.co.jp/> E-mail: I_Lando@ucan.co.jp

昭和 39 年卒



2017年9月30日 霞山会館 198人 平4卒幹事



2018年9月29日 霞山会館 181人 平5卒幹事



2019年9月28日 Nagatacho GRiD(永田町グリッド) 172人 平6卒幹事

カフェ・バー
GORI

藤本 宣
礼子
東京都新宿区新宿 1-17-11 大洋ビル 1F
TEL. 03-3353-1294

昭和 41 年卒



学校法人東海大学 理事
東海大学学園校友会 会長

後藤 俊郎

〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2丁目28番4号
TEL : (03) 3467-2211 (代表)
Mobile : 090-9974-7496
E-mail : gon@tokai.ac.jp

昭和 41 年卒



The Institute of Marketing & Distribution Research

一般社団法人 流通問題研究協会

(社) 流通問題研究協会 副会長
青山学院大学 名誉教授

三村 優美子

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8
機械振興会館 4F
Tel : 03(3436)1686
Fax : 03(3436)1690
E-mail : mykayama987@sweet.ocn.ne.jp
http : //www.idr.or.jp/

昭和 44 年卒

岡山県立津山高等学校 校長 赤松 一樹

岡山県立津山高等学校関東同窓会の皆様には、平素から本校教育活動の充実と発展に格段の御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年度は、コロナウイルス感染症の流行で同窓生の皆様にも多くの御苦勞があったのではないかと拝察いたします。本校でも新入生を迎え、新たな学びを始めようとした矢先に約一月半の臨時休業を余儀なくされ、学校行事や部活動等も中止したり規模を縮小して実施するなど影響を受けました。高校の生徒会長は、生徒会誌「椿陵」に、「当たり前」であった日常・学校生活が奪われた事で「当たり前なもの」など本当はなく「有り難いもの」であったこと、また一つ一つのことに価値がありそれに気が付かず「当たり前だ」と思い込んで日々を過ごしてきたということに気が付かされた。コロナ禍により新しい生活様式を取り入れ限られた条件の中で自分には何ができるのかを考える機会になった。」と今年を振り返っています。

本校は文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受け、例年はフィールドワークを行ったり、大学や研究機関等を訪問するなどの機会を設けておりましたが、今年オンラインの活用を積極的にすすめました。東京大学、米国・コーネル大学等、国内外の研究機関と教室を接続し、最先端の研究内容や米国の人種差別問題などについて研究者から学び



▲ICT機器を活用した図書館での授業風景

ました。また、クラウド上に保存したデータや教材等に、教室でも家庭からでもアクセスできる仕組みを導入し、情報端末を利用して生徒が実験データを共有したり、家庭で授業の振り返りを行ったりする取組を始めました。教育活動にコロナ禍の影響も多く受けましたが、こうした情報通信技術を活用した新たな学びの可能性を実感した一年となりました。これからは、中学生は学校が用意したものを、高校生は個人購入により生徒一人一人が情報端末をもち、授業や課題研究等に新たな学びを広げようとしています。



今年は、平成27年に開校した津山中学校1期生が中高6年間の学びを結実する年でもありました。去る3月1日に高校から入学してきた生徒とあわせて234名が津山高校72期生として本校を巣立ちました。72期生は、新たに始まった大学入学共通テストなどの大学入試改革やコロナ禍での受験に戸惑いや不安を感じながらも、東京大学への3名の合格をはじめ、それぞれが目指した進路の実現を果たしております。

最後に、関東同窓会の益々の御発展、及び、会員の皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして近況報告を終わらせていただきます。

令和3年度 関東を中心とした主要大学合格者数

国公立	茨城	筑波	埼玉	千葉	東京	東京工業大	富山	信州	静岡	滋賀	京都	大阪	神戸	鳥取	
	1	2	1	1	3	1	1	1	2	1	2	3	5	14	
医学部 医学科	島根	岡山	香川	自治医科大	川崎医科大				島根	岡山	広島	香川	愛媛	九州	国公立合計
	1	1	1	1	1				12	26	8	9	8	5	164
私立	青山学院	慶応義塾	中央	法政	明治	立教	早稲田	同志社	立命館	龍谷	関西	近畿	関西学院	清心女子	
	2	2	2	1	1	1	1	14	41	33	16	45	8	19	

小林・福井法律事務所
弁護士
小林 元治
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目12番6号
コアロード西新宿203号
TEL: 03-3343-6088 (代表)
FAX: 03-3343-3395
E-mail: m.kobayashi@kobafuku-law.jp
URL: http://www.kobafuku-law.jp

昭和45年卒

クレバリーホーム
代表取締役
井家上 進
株式会社 新昭和FCパートナーズ
〒299-1144 千葉県君津市東坂田4-3-3
Phone: 0439-50-3371 (代) Fax: 0439-50-3373
E-mail: susumu.ikegami@shinshowa.co.jp
https://www.cleverlyhome.com/

昭和46年卒

美作三湯・奥津温泉
名泉鍵湯 奥津壮
女将 鈴木和枝
〒708-0503 岡山県苫田郡鏡野町奥津48
電話 (0868) 52-0021
FAX (0868) 52-0608
http://okutsuso.com
E-mail info@okutsuso.com

昭和46年卒

その“庭”は世界に通じている。

真庭市

「蒜山⇄晴海プロジェクト ～東京からの里帰り～」

市全域の8割を山林が占める真庭市は、「木を使い切る」を標榜し、様々な事業に取り組んでいます。

その一つがCLT(Cross Laminated Timber 直交集成板)という新たな木質系材料の需要拡大です。CLTはひき材の繊維が直交するように積み重ね接着した材で、木造の高層ビル建築にも対応できる耐久力と防火性を兼ね備えた注目の材です。

このCLTを使用した「蒜山⇄晴海プロジェクト」を紹介します。(当初2020年夏開催が予定された東京・五輪パラリンピックに合わせ、)真庭市で製造されたCLT材を使い、隈研吾都市建築設計事務所デザイン・監修のCLT建築物が東京・晴海に建築、展示されました。(晴海での展示は2020年9月で終了)

このCLT建築物が、真庭市蒜山へと里帰りしました。晴海に建てられたパビリオン棟を解体し、蒜山高原に移築する工事が行われ、イベントスペースやビジターセンター、隈研吾氏の縮尺模型作品を展示するミュージアムへと生まれ変わりました。なかでも4階建てのビルに相当するパビリオン棟は圧巻です。

(2021年7月完成)

CLTは解体しやすく、コンクリート造と異なり資源のサステナブルな利用(再組立)が可能で、SDGs※1の理念にも合致します。また、蒜山高原を「自然共生と洗練」を象徴する地としてアピールしようと、(株)阪急阪神百貨店と共同で「GREENable(グリーンナブル)※2」というブランドも立ち上げています。

真価の庭(自分たちのまち)を舞台に、「木を使い切る」という真庭市。そして、地域の取り組みをローカルに留めず、国際的視点であるSDGsとの組み合わせで、グローバルな展開を目指しています。

他にも、バイオマス発電を始めとしたエネルギー自給率100%を目指す取り組みなど、クリーンな風を感じさせるまちです。

※1 真庭市はSDGs達成に向けた優れた取り組みを行う「SDGs未来都市」に選定されている。
※2 「Green」と「Sustainable」を組み合わせた造語。人間の営みと自然が寄り添って持続可能な関係を作り直すことを目指す。

【所在地】 岡山県真庭市蒜山上福田1205番20

【問合せ先】 真庭市役所産業政策課 TEL0867-42-1033

【アクセス】 米子自動車道「蒜山IC」から3.5km



▲蒜山高原での完成イメージ図

ひときわ高くそびえるパビリオン棟(中央)と、軒下の意匠が特徴のビジターセンターやミュージアムが入る屋内展示棟(左)がある。



▲写真提供：真庭市

真庭市出身のスーパースター ☆

SDGsの牽引役 太田 昇市長

1951年真庭市生まれ。1970年津山高等学校卒業。1975年京都大学法学部卒業。1975年に京都府へ入庁し、財政課長、知事室長、総務部長等を経て、2010年から副知事を務めた後、2013年4月に真庭市長へ就任。現在3期目。市の持続的発展には、地域資源を見出し、活用し、連携していくことが一つの方策であるという考え方のもと、豊かな木質資源を活用したバイオマス発電やCLTの普及など、里山真庭の多彩な地域資源を生かした戦略的取組に挑戦している。

編集雑感：真庭ってこんなにカッコよかった?! 学生時代の真庭のイメージとは一転、今や、国際的にも注目される存在になっていたことに衝撃を受けました。世界的な潮流であるSDGsを地域創生に活かす真庭市をリードするのは、津山高校の大先輩である太田市長。京都で実力をつけた後、生まれ故郷に帰り、故郷のために能力をフル発揮されている理想的なリターンに尊敬と憧れを抱きました。

是非、皆さんも里帰りの際には時代を駆け抜ける真庭を訪れてみてください☆

(平3卒 日下ゆりあ)

かふえ花音
江田実子
〒708-0046 津山市西今町64 tel.0868-35-2919
8:00~18:00(水曜日休み)

昭和48年卒

代表取締役会長
OTSUKI TAKAYUKI
大月 隆行
Landes
ハレーサルト
自然と文化のインターフェイスへ
ランデス株式会社
本社/岡山県真庭市開田630-1 〒719-3192
TEL 0867-52-1141(代) FAX 0867-52-3515
https://www.landes.co.jp
e-mail:t-otsuki@landes.co.jp
第17回 国土技術開発賞 入賞

昭和48年卒

Cooperative BUILDERS
協同組合ビルダース
優良一般監理団体
許可番号 許1704001005
外国人技能
実習生・特定技能
理事 長
菱川 英章
HISHIKAWA HIDEAKI
本 部 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-12-1
サンテラス新宿412 (1階 三井住友銀行)
TEL (03)5337-2270(代) FAX (03)5337-2271
携帯 080-3597-1333 E-mail:hishikawa@kiv.or.jp
大阪事務所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-5-9 西中島NTビル4F
TEL (06)6304-1020 FAX (06)6304-2220
岡山事務所 〒701-1153 岡山県岡山市北区富原3788-1
TEL (086)252-6311 FAX (086)252-6312
URL: bld-coop.jp

昭和48年卒

コロナ禍の中での転職・結婚・出産 宮島 聡子氏 (平14卒)



プロフィール

2002年 津山高校 卒業 (ハンドボール部所属)
2006年 東京大学法学部 卒業
2008年 東京大学法科大学院 修了
2008年 司法試験合格
2009年 最高裁判所司法研修所 修了 (岡山修習)
2009年 弁護士登録
2010年 森・濱田松本法律事務所 入所
2016年 米国バージニア大学ロースクール 修了
2016年 三菱商事株式会社 出向
2019年 ニューヨーク州弁護士登録
2020年 ゴールドマン・サックス証券株式会社 入社

世界中が新型コロナウイルスの猛威に翻弄された 2020 年は、私にとって人生が大きく動く一年となりました。

弁護士登録以降 10 年間勤務した法律事務所を 1 月に退職し、2 月に証券会社の法務部に転職、そして、関東同窓会の先輩に引き合わせていただいた方と結婚しました。

新しい生活を楽しもうと張り切っていた矢先に、コロナの感染状況が悪化し、世界が少しずつ変化し始めました。仕事は転職後 1 ヶ月で在宅勤務となりました。社内弁護士は、法律の知識があることに加え、会社のビジネスを深く理解することを求められます。転職したばかりで顔を合わせたこともない同僚がいる中で在宅勤務は困難を極めましたが、可能な限り電話や社内チャットでコミュニケーションを密に取るよう心がけ、周囲からの信頼を得ることができました。一方で、緊急事態宣言下で全く外出できなかったことで、結婚したばかりの夫と長く一緒に過ごし、夫婦の絆を強めることができたのは嬉しい誤算でした。

そんな中、5月に妊娠が判明。転職したばかりで妊娠してしまってどうしよう…と焦りましたが、転職して人生が良い方に転ぶのは素晴らしいこととの上司の言葉のもと、同僚からの温かい祝福とサポートを受け、働きながら妊婦生活を送ることができました。

そして 11 月に津山に里帰りしました。津山でも感染者が多く発生する状況の中、恩師や友人に直接会うことは叶いませんでしたが、運動をかねて津山高校、鶴山公園、徳守神社、津山洋学資料館など名所を徒歩で訪れ、高校時代を懐かしみながら過ごしま

した。また、約 20 年ぶりに実家で両親と一緒に生活をしたことで、両親が私を愛情たっぷりに大切に育ててくれたことを実感することができました。

そして 12 月末に津山中央病院にて男児を出産しました。感染対策のため入院中の面会は禁止、夫の出産立会いも不可、という状況でしたが、スタッフの皆様にも励ましていただきながら、無事に元気な赤ちゃんを出産することができ、またその後数日の入院期間を乗り切ることができました。津山中央病院は父 (津山高校 26 期) の勤務先であり、また私が生まれた病院でもあります。そんな場所で自分も新しい命をつなぐことができたことは、かけがえない経験となりました。

振り返ってみると、私は、周囲の人たちに支えられて 2020 年を乗り切ることができたのだと改めて感じています。今は津山の実家にて、もうすぐ 2 ヶ月になる息子と過ごしています。7 月には職場復帰し、弁護士としても母としてもさらに成長していきたいと考えています。慣れない育児にてんてこ舞いの毎日ですが、これからも周囲の支えに感謝しつつ頑張っていきます。

(2021 年 2 月 27 日)



社会福祉法人 江原恵明会

理事長
江原 秀国

〒708-0884 岡山県津山市津山口 306
TEL:0868-23-2738

昭和 49 年卒

額田・井口法律事務所

額田 洋一

NUKADA & IGUCHI Law Office

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-7-15
市ヶ谷クロスプレイス 6 階
TEL : 03-3267-3201 FAX : 03-3267-3202

昭和 50 年卒

代表取締役
土屋 尚士

株式会社 アンデスフィルム
〒106-0031 東京都港区西麻布3-18-11
PHONE.03-5414-2411 FAX.03-5414-2412
Mobile.090-6940-1300
E-mail: andes@andes-film.com

昭和 53 年卒

分野をつないで 新しい学問を切り拓く

和田 有希氏
(平22卒)



プロフィール

津山市生まれ、真庭市（旧落合町）出身。2010年理数科卒。2015年3月東京大学理学部物理学科卒業、2020年3月同大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了、博士（理学）。2020年4月理化学研究所 基礎科学特別研究員を経て、2021年5月より大阪大学大学院工学研究科 助教。2018年と2020年には渡仏し、パリ大学 宇宙線宇宙論研究所にて客員研究員を務める。専門は高エネルギー大気物理学、高エネルギー宇宙物理学、および放射線計測。

物理学を志したのは高校時代です。在学中の2008年に南部・益川・小林の三氏がノーベル物理学賞を受賞され、また幸運にも2002年受賞の小柴昌俊氏が同じく2008年に津山文化センターでご講演されたこともあり、基礎物理学への憧れを強くしました。一方で中学時代にはロボットコンテストにも参加し、工学的な領域にも興味も持ちました。モノを作って、なおかつ基礎物理学に貢献できないか。その願望に合致したのが実験物理学でした。物理学の実験の分野では自ら実験装置を開発し、物理現象を観測します。大学院では人工衛星を開発し、ブラックホールなど天体から発せられる放射線を観測する研究室に飛び込みました。

現在の私の研究は雷に由来する放射線の発生メカニズムの解明です。1990年代から雷が発する放射線が観測されてきました。しかしなぜ雷から放射線が発せられるのか、未解明な点も多く残されています。さらには雷の発生そのものに放射線が関わっているという予想もあり、雷予知という観点でも重要となってきました。

雷と放射線という意外な組み合わせ故に、原子力関係や高エネルギー宇宙物理の研究者がこの分野をリードしてきました。一方で雷は従来より電波などで観測され、放射線の分野とは距離がありました。放射線観測を進めるうちに、詳細な雷の観測ができればもっと研究が進むのに、と思うことが増えてきたころ、学会で雷の研究者とお会いする機会があり、共同研究が始

まりました。

私は冬の北陸地方で発生する雷を観測しています。11月から12月になると「鯨おこし」と呼ばれる雷が石川県を中心に発生し、脂の乗った寒ブリの水揚げシーズンとなります。冬に発生する雷は世界的に見ても珍しく、世界中から注目される格好のターゲットです。学会がきっかけで始まった放射線と雷観測の融合は、北陸の冬季雷という特殊性もあり、今や「高エネルギー大気物理学」と冠する新しい学問領域を作り出し、世界的にリードしています。



代表 税理士
松田 匡司
Masashi Matsuda

作州会計 経済産業省認定
経営革新等支援機関
sakushu.jp

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント1F
TEL 03-6822-4704 FAX 03-6737-8884
Email matsuda@sakushu.jp

昭和54年卒

RIKKYO UNIVERSITY
1900

法学部教授
体育会剣道部長
博士(法学)
神橋 一彦
Kambashi Kazuhiko

Lead the Way

立教大学
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
Tel. 03-3985-2542 Fax. 03-3983-0174
E-mail: kambashi-k@rikkyo.ac.jp

昭和58年卒

御茶ノ水聖橋
INDEPENDANCE JICHUJOSHU CLINIC
クリニック

医師・医学博士 **林 同文**
内科/循環器科

〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目9-15
御茶ノ水HYビル(旧 茶州ビル)2F
TEL 03-5689-6811

診療科目

- 内科(循環器科/呼吸器科/消化器科/アレルギー科)
- スポーツ専門外来 ●皮膚科/アレルギー科 ●美容皮膚科

昭和59年卒

私の一枚！

私の一枚！

自作の少し変わった形の陶器です。
日頃は自家製の梅酒を入れています。
昭35卒 片岡廣治郎



主人の育った藤沢市辻堂に引越してから35、6年が経ちます。
TVでおなじみ江の島の茅ヶ崎寄りの海岸のそばです。
その江の島を詠んだ和歌です。
『磯づたひ行きて帰えらむ江の島へ
一里は近し朧夜の月』(作者不明)
昭37卒 加島睦子



神田ニコライ堂が隣のビルに
映り込む光景を描いたF50号水彩画
昭42卒 竹内元章



ピアノの先生を続けていて、私同様の
高齢の生徒さんと音楽を楽しんでいます。
昭42卒 松田陽子



この写真のタンポポの綿毛の様に1日も早く
僕らも自由に旅立てる日が来ますように。
昭46卒 佐古彰彦



秋が見つけれられました！昭和記念公園
昭46卒 水田潤子



一年半前に自主出版した<ロシア本>です。
ナヴァリヌイ氏は今や時の人に。
昭46卒 井上怜子



三密と酷暑を避けて
白馬でワーケーション・八方池
昭46卒 植月雅文

UNAGI DESIGN OFFICE

宇那木デザイン室

主に書籍、各種紙媒体のデザイン

<https://unagi-design.com/>

平成3年卒

代表取締役社長

日下 ゆりあ
Yuria Kusaka

株式会社Woman's カレッジ
〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町1-10-3
ステアードコート日本橋人形町11F
TEL. 03-3668-3030
FAX. 03-6231-1503
MOBILE. 090-3764-3113
E-mail: kusaka@womans-c.com
https://www.womans-c.com/

平成3年卒

明治十一代和茶

中島病院

院長 **中島 弘文**

〒708-0052
津山市田町122
電話(0868)22-8251
g-naka@ra3.so-net.ne.jp

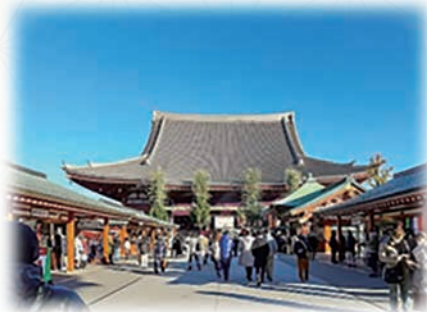
平成4年卒

私の一枚！

昨年春から一年も続いているコロナ禍の中で、プライベートのイベント・お気に入りの景色・ご家族との印象に残るできごと、ほっとするひととき・見て見て、この私の作品などなど、コロナ禍に負けない「私の一枚！」を、同窓生の皆様と共有できることを期待しています。



笑うから幸せに！お年賀もZOOM、
どんな時代も今を笑って生きる！
昭49卒 松下いづみ



津山帰省も神戸帰宅もせず単身赴任先の
東京でひとり正月を迎えました
昭56卒 野田雄三



息子が成人。親歴20年！
昭57卒 沼野秀吾・しのぶ



「津山に向かってVサイン」長男就活内定、
長女大学合格、次女高校合格！
第一希望を勝ち取ったで～
昭63卒 早瀬徹・有里(旧姓:中尾)



東京と岡山県美咲町の
二拠点生活を始めました♪
平3卒 日下ゆりあ



GoToのタイミングで高校の同級生達と男旅。
三つ子の魂百までとはよく言ったもの、
皆クセが強くなっています(笑)
平4卒 日下康幸



コロナ禍の巣ごもりで
粉を捏ねる機会が増えました。
まだまだ下手の横好きレベルです。(笑)
平5卒 村上智之



不急ながら不要ではない家族旅行。
沖縄の観光地はガラガラで
関係者の苦勞に思いを馳せました。
平11卒 小谷匠平



図らずも2020年は、学生最後に
地元美作地域を見つめ直せた一年でした。
美甘村にて
平28卒 藤田太郎

ASSETZ2
https://assetz2.work
スマホでかんたん登録
0円からはじめる販品・資産管理クラウド

グサカ
日下 ヤスユキ
代表取締役CEO

アストロラボ株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2
日本ビルディング4階
☎ 03-4400-1822
✉ yas@astrolab.co.jp

平成4年卒

代表取締役/オーナーシェフ
フードプロデューサー
難波 秀行
Hideyuki Namba
namba@petaledesakura.com

レストラン ベタルドゥサクラ
株式会社 ぎくら喫茶

〒245-0008 横浜市泉区弥生台5-2
Tel.045-443-5876
Fax 兼キッチン直通電話 Tel.045-443-5874
www.petaledesakura.com

平成4年卒

SUEMOKKO

代表取締役社長
須江 健治

株式会社 すえ木工 http://www.suemokko.co.jp/

■本社・家具事業部
〒708-0861 岡山県津山市八出244-1
Tel: (0868)-23-4481 Fax: 23-4483
Mail: suemokko@suemokko.co.jp

■RIM事業部
〒708-0861 岡山県津山市八出493
Tel: (0868)-23-4050 Fax: 23-4978
Mail: suemokko.rim@suemokko.co.jp

平成5年卒

コロナ禍で！

プロフィール

昭和46年 津山高校卒業
昭和51年 愛知大学法経学部卒業
平成17年 27年間勤務した
大和リース株式会社を退職
ニュージーランドに移住



平田 晋輔氏 (昭46卒)

2005年50歳で家内と愛犬と共にニュージーランドに移住し4月で17年目になります。

レンタカー会社経営と和食シェフを副業にしています。昨年3月よりコロナ禍によりロックダウンとなり想定外の状況になりました。現在も国際線は入国制限が続き、街ではソーシャルディスタンス確保とアプリで行動報告義務があります。私の仕事は3月より現在までレンタカーのお客様は全くなく、観光がダメなので仕方ありません。政府にオンライン申請して翌日100万円・2年間無金利の融資がありました。レストランの給与はロックダウン中、通常の80%支給。ロックダウン後10月の普通の生活に戻る迄の150日間で働けたのは50日でした。現在もレベル1の制限でソーシャルディスタンスとアプリは続いており、まだまだ不安との闘いは続きます。

日本国内も緊急事態宣言延長と聞きました。命を守りコロナ禍を乗り切って元気に再会できることを楽しみにしています。

(2021年2月2日)

プロフィール

平成13年 津山高校卒業
平成17年 早稲田大学商学部卒業
卒業後住友商事株式会社に勤務。
東京とインドネシアでの勤務を経て、
現在ブラジルでの海外駐在4年目。
在学中はサッカー部に所属、
部活に明け暮れていました。



河村 成晃氏 (平13卒)

今般のパンデミックで妻子を伴う日本への一時退避や、昼は家族と夜はブラジルの業務という生活環境にて、様々な気づきやチャレンジがありました。

再びサンパウロに戻り、引続き子供らのオンライン授業と在宅勤務中の私が入り乱れる混沌とした状況にも、部屋割りなどの工夫で対応してみました。一方、私の在宅時間が増え、また、現地飲食店の営業制限もあり、自宅での料理熱が急上昇。これまで避けてきた天ぷらなどの揚げ物や、食材の下処理など、改めて料理に挑戦、没頭しています。その他、趣味のサッカーは残念ながら活動の場が少ない一方、筋力トレーニングや縄跳びなどを継続して動けるおじさんを目指し、コロナ前比で体脂肪率5%減を果たしました。

斯様な制限された生活下でも、何かを始めようと考えられたのは、当地ブラジルの同僚らの前向き（ある意味楽観的）な姿勢からの影響も多分にあったようで、引続き彼らと色々チャレンジしてみようと思っています。



プロフィール

津山高校平成27年卒

- ・書道家・株式会社EternaGraphy 代表取締役CEO
- ・ブダペスト在住(ヨーロッパ)・ブダペストにあるセンメルweis医科大学医学部在籍

現在は、海外と日本を行き来しながら、医学を勉強する一方で、自身で展開しているオンライン書道教室、書を使ったデザイン、作品等の発注を受けている。さらに、大手ブランドと多数コラボをしながら、海外のコレクション等に出演もしている。(現在、来年度の、ミラノコレクション、パリコレクションに靴のデザインで出展するべく、作成中)

現在、ヨーロッパにあるハンガリーのブダペスト在住で、現地の大学で医学を学びながら書道家として日本の企業などとオンラインで仕事をしています。

ヨーロッパはコロナの状況がかなり深刻で、かなり早期の段階からロックダウンに入る国が多々見られました。ハンガリーも例外ではなく、第一波の時は学校、レストラン等もすべて閉まる、という状況でした。

光井 一輝氏 (平27卒)

うちの学校も例外ではなく、授業は基本オンラインという状況で、今もそれは続いています。日本との一番大きな違いは、自粛や、自主規制ではなく、警察による取り締まり、ということなのです。それにより、一度ロックダウン等の規制がかかった国では、十分な隔離措置が行われ、感染者数等は徐々に減ってきています。

しかし、日本との仕事が同時にできて私はオンラインはありがたいですが、やはり学生の意見を聞くと、授業は講堂で受けたい、友達との交流の場がない、忙しい勉強の中で部屋でこもりっきりは鬱になりそうといった意見がほとんどがこちらの状況です。

(2021年2月2日)

※本会報表紙の「津山高校」の文字は光井氏の揮毫によるものです。

コロナ禍でだからこそ！

プロフィール

平成29年3月 美咲町立中央中学校卒業
令和2年3月 津山高校卒業
令和2年4月 学習院大学法学部入学

まつだ ゆうだい
松田 侑大氏
(令2卒)



私は、コロナ禍という困難な状況の中で生活するにあたって常にあることを考えていました。それは、コロナ禍での不自由を嘆くのではなく、この状況「だからこそ」できることは何か、ということです。

例えば、私の在学する大学を含め、多くの大学がオンライン授業へと切り替わりました。このオンライン化によって通学のために費やす時間がなくなったことで、時間的な余裕が与えられ、またそれに伴い人と関わる機会が制限された分、自分1人の時間を多く得ることができたと私は考えています。私はこの時間を使いロードバイクという新たな趣味を見つけました。

他にも、人と会う機会が減った分、今ある交友関係を大切にしようと思ったり、コロナ政策を気にすることでより行政に興味を持ったりなど、コロナ禍は私たちに不自由を強いるものですが、同時に様々な事を見直す契機にもなったのではないかと考えています。

この状況がいつまで続くのかはわかりませんが、苦しい思いをしているのは自分一人ではないので、せめて前向きな思考をもってこの困難な状況を乗り越えていけたらと私は考えています。

(鶴山館在館)

(2021年3月3日)

コロナ禍での就職活動

プロフィール

平成26年3月 津山市立久米中学校卒
平成29年3月 津山高校卒業
令和3年3月 東京学芸大学教育学部卒業

もりにし さやか
森西 清華氏
(平29卒)



学生最後の1年が始まった矢先、全国に緊急事態宣言が出され、就活だけでなく授業・部活動全てが一時中断された。選考日程も不明確になり、先の見えない状況に不満や不安が募る毎日だった。

その代わりに時間の余裕ができた分、自分に向き合う時間も多くなった。その中で、自分にとって何を大切に生きてきたのか、それを経て今自分は何が大切だと思っているのか自問自答によって自身の価値観を整理することが出来た。自粛期間中の自問自答が就職活動に活かされたと感じる。

コロナ禍での就職活動を終え、社会人になろうとする今、新入社員研修もオンラインになることが決まった。時代が変化する中で、自分達も変化していかなければならないと感じると共に、自分の中にある譲れない・変わらない大切なことはこの先も変わることなく持っていきたいと思う。

(2021年3月9日)

子供たちのために大人は変わるか

プロフィール

東京大学大学院医学系研究科准教授を経て、135年の歴史を持つ、坂本龍馬で有名な「海援隊」を前身とする三菱財閥発祥企業であり、日本初の株式会社「日本郵船」の統括産業医に就任。また、循環器疾患を中心に生活習慣病治療の現場に携わり、医療法人聖桐会「御茶ノ水聖橋クリニック」を創業、21年目を迎える。同時に、多くの医歯薬系大学大学院客員教授等を兼任し、日本オリンピック委員会(JOC)医科学強化スタッフとして日本代表チームドクターも歴任。新聞や書籍、Web等で健康・美容、医学関連の執筆活動を含め、各競技の日本代表選手、プロスポーツ団体、大学運動部等のチームドクターとして活躍するだけでなく、現在も月1000人を超える患者診察を行っている。



はやし どうぶん
林 同文氏
(昭59卒)

2019年12月に中国武漢にて発生し全世界に広がった COVID-19 (以下新型コロナ)。世界中の感染流行禍で、我々の生活も激変し1年が経過した。我々医療従事者は、家族までその対象となり外食はおろか外出も余儀なく制限され、信じ難いことではあるが、世界でもあり得ない「差別」まで引き起こされてきた。また、

日本政府の新型コロナに関する対応は、OECD 先進諸国の中でもあまりにも杜撰なものであり、多くの弱点をさらし出してきたことも否めない。

人類史上、過去にも繰り返されてきたこうした試練。もし、神が与え給うたものであるならば、我々は何を感じ、どう生きていけばいいのだろうか。ワクチン開発による一時的な回避は実現できる可能性もある。しかし、もう慣れ親しんだコロナ前の生活には戻れない。いや逆に、必要なのに先送りされてきた問題があぶりだされた今こそ、老人支配の既得権益にまみれた古い社会をドラスティックに変革させる最後のチャンスなのかもしれない。

ただ、こうした突如として強制的に分断された新社会への過渡期、最大の犠牲者は社会的に未熟な子供たちだ。これからの新世代に育つ子供たちに対して、我々は具体的にどのように手を差し伸べることができるのか。対面のコミュニケーションや人との接し方が問われる新時代に、人間性を損なうことなく、まわりを慈しむ心、愛情を持つ人間に育てる環境をどう整えてあげることができるか。これこそが我々にできる次の優先事項ではないだろうか。

新型コロナによって、我々は多くのことを学び、反省し、問題解決に向けて尽力してきた。これから大切なのは、過去に固執し、新しい流れに対して「変わらない大人」は、自分を含めて存在意義が問われる時代だと認識すべきことであろう。

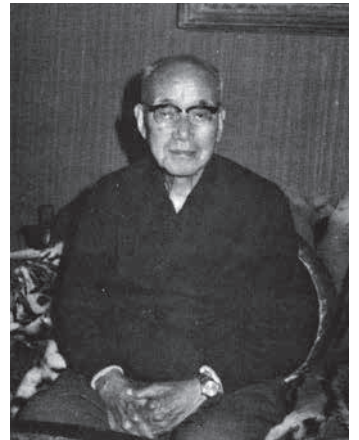
(2021年2月28日)

「多賀育英会」の生みの親、多賀二夫氏について



プロフィール

- 1966年 東京大学理学部化学科卒
- 1971年 同大学理学系大学院博士課程修了(理学博士)
- 1971年 東京大学理学部助手
- 1979年 高エネルギー物理学研究所助教授
- 1986年 広島大学理学部教授
- 1992年 東京大学理学部教授
- 2006年 同大定年退職、
立命館大学特別招聘教授(SRセンター長)
- 2018年 立命館大学上席研究員 現在に至る



▲晩年の多賀氏、牛窓にて

太田 俊明 (昭37卒、東京大学名誉教授)

昭和30年代、地方都市である津山近郊では戦後復興の足音もまだ聞こえず、多くの家庭が貧しく、また子沢山でもあった。子供達が高等教育を受けるには、育英会の奨学金が唯一の頼りであったが、それでも十分とはいえなかった。そのような中、私財を投じて大学での奨学金を出してくださったのが、津山中学出身の多賀二夫氏である。学年で支給される人数は3、4人と数少なかったが、受給生の一人として、ここに多賀二夫氏について紹介したい。(以下敬称略)

多賀二夫は津山中学を卒業後、貿易実務者を養成する私塾、東亜同文書学院に入学した。語学が得意な多賀少年にとって、世界を股にかけた商社マンになることが夢だったのであろう。1911年に入社した鈴木商店は、もともと神戸の一介の砂糖問屋であったが、大番頭金子直吉のもと、多賀二夫ら少数精鋭の若手社員の努力によって、総合商社として奇跡の発展を遂げ、世界にその名を轟かせたことで有名である。しかし、鈴木商店も関東大震災や昭和金融恐慌に見舞われ、1927年に破綻することになる。多賀二夫はムンバイ支店長として残り、系列会社を立て直して新会社日商(株)の創設に参加した。そして鈴木商店で培った厚い信頼関係でインドの巨大財閥タタグループと独占的な鉄鉱販売権をとりつけた。これらの功績により37歳の若さで日商(株)の取締役になった。そして、60歳の時に系列の中央毛織(株)の取締役社長に就任し、16年間社長の職を務めた。多賀二夫は実業家として、また経営者として華々しい成功を収めた一人である。

家庭では、1914年津山中学時代の親友の妹、初音と結婚をした。子宝に恵まれなかったものの、幼い頃から家に入出入りし実子のよ

うに可愛がっていた、夫人の兄の次男、万亀彦を養子として迎えた。万亀彦は1943年慶応大学法学部を卒業、(株)日立製作所に入社するも、翌年海軍に入隊し1945年フィリピンで戦死した。最愛の万亀彦の戦死が多賀夫妻に大きな喪失感を与えたことは想像に難くない。そのことが1952年より多賀万亀彦記念奨学基金を開設した契機になった。多賀二夫は70歳のとき、愛する夫人にも死に別れたが、1970年に養嗣子として迎え入れた長兄の孫、信行氏に後を託し、1978年90歳の天命を全うした。

多賀万亀彦記念奨学基金は1969年に(財)多賀育英会と変わり、69年経過した現在も続けられているとのことである。多賀育英会の恩恵を受けた多くの後輩達は、今でも多賀二夫氏の威徳に感謝の念を忘れることはないであろう。



▲多賀氏と万亀彦氏(中央) 初音夫人。芦屋にて1935年頃(多賀信行氏より提供)

多賀 二夫(たが ふたお)
1887年岡山県英田郡美作町に生誕。1906年津山中学校卒業。1909年東亜同文書院商科を卒業後、鈴木商店に入社。香港、上海、ムンバイの支店長を歴任、1927年日商(株)取締役、1947年中央毛織(株)社長、1962年同会長、翌年相談役。1969年(財)多賀育英会を設立。1978年90歳で逝去。

ロイド・ABS・NK・CCS・DNV/GL 船級認定工場
 鋳造・木型・熱処理・機械加工
株式会社 光岡製信所
 代表取締役 **光岡 宏文**
 Hirofumi Mitsuoka
 (鋳造技士) (UT-LEVEL 2)
 【本社工場】 〒708-0857 Tel: (0868) 26-0145
 岡山県津山市福力16 Fax: (0868) 26-5029
 E-Mail: hirofumi@mitsuoka.co.jp
 URL: http://www.mitsuoka.co.jp
 mobil: 090-8719-3406

平成6年卒

代表取締役社長
若山 圭介
 本 社
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-1
 TK新都心ビル 10F
 TEL 03-5909-7145
 FAX 03-5909-7146
 E-mail:k.wakayama@wprosp.co.jp
 SOEIホールディングス株式会社
 双栄基礎工業株式会社
 http://soei.tokyo/

平成6年卒

空調設備 設計・施工
VOICE INTERNATIONAL
ボイス インターナショナル 株式会社
 〒171-0014 東京都豊島区池袋2丁目57番2号
 TEL: 03-3984-7515 (代表)
 FAX: 03-3984-2318

関東同窓会役員・常任委員一覧

会長 増田 美子(昭37卒) **副会長** 竹内 妙子(昭36卒) **副会長** 中島 純三(昭42卒) **副会長** 水田 潤子(昭46卒)
副会長(事務局長) 山本 大 (昭49卒) **副会長** 日下 康幸(平4卒) **監事** 佐菜 慎二(昭36卒) **監事** 泉 昭正(昭37卒)
顧問 片岡廣治郎(昭35卒)
総務担当委員 堀内 慎一(昭42卒) **総務担当委員** 植月 雅文(昭46卒) **総務担当委員** 永松 呉葉(昭48卒) **総務担当委員** 山田 雅義(昭50卒)
総務担当委員 松田 匡司(昭54卒) **総務担当委員** 早瀬 徹 (昭63卒) **総務担当委員** 日下 ゆりあ(平3卒) **総務担当委員** 國井 美由紀(平4卒)
総務担当委員 小谷 匠平(平11卒)

卒業年	氏名
昭18	高橋 孜子
昭22	浮田 裕之
昭22	福井 富枝
昭26	小賀 由章
昭26	竹久 美与子
昭27	久本 昌夫
昭28	三宅 寛子
昭29	原 光穂
昭29	安藤 美恵子
昭30	金築 順子
昭31	白岩 良一
昭31	大谷 昌子
昭32	友保 隆晴
昭33	福原 毅
昭33	柿内 扶仁子
昭34	奥田 恭彦
昭34	岩下 尚子
昭35	馬場 史郎
昭36	近藤 達也

卒業年	氏名
昭37	斎藤 正子
昭37	黒田 悦司
昭37	大森 慎
昭37	山本 茂樹
昭38	澤谷 豊
昭39	衣笠 一成
昭39	安藤 淑子
昭40	草地 八寿郎
昭41	赤木 省三
昭41	高橋 伸昌
昭41	井上 幸恵
昭42	安藤 三男
昭42	天池 恵
昭43	神家 康博
昭44	栗 二公雄
昭45	木多 務
昭45	福田 正志
昭45	高島 範真
昭46	檜尾 守昭

卒業年	氏名
昭46	大河原 優子
昭47	有吉 啓子
昭47	原 雅彦
昭47	谷岡 宏
昭48	菱川 英章
昭49	林 敏彦
昭49	松下 いづみ
昭50	田和 一樹
昭51	佐竹 康宏
昭51	岡田 恵子
昭52	角南 元司
昭53	阿部 達彦
昭53	山口 ゆりか
昭54	河本 倫子
昭55	内田 達也
昭56	山本 進
昭56	石田 徳子
昭56	久保 明美
昭57	照尾 彰教

卒業年	氏名
昭57	杉原 隆世
昭58	神橋 一彦
昭58	後藤 かおり
昭59	安田 明弘
昭59	片山 政周
昭60	枝並 輝之
昭60	山本 敏伸
昭61	黒田 俊恵
昭61	芦田 将
昭62	岡野 洋士
昭62	谷口 太郎
昭63	小山 将良
昭63	繁定 正典
平2	中西 孝
平3	谷口 聡
平3	宇那木 孝俊
平4	花村 浩二
平4	坂本 匡史
平4	北山 栄美

卒業年	氏名
平5	徳田 泰二
平5	久常 健
平5	磯田 暁男
平5	山縣 政宏
平6	若山 圭介
平6	春名 伸昭
平7	山下 弘展
平7	小堀 さとみ
平7	武藤 由紀恵
平7	森 亜矢子
平8	日上 多聞
平14	宮島 聡子
平22	西本 卓司
平26	日笠 比咲子
平28	藤田 太郎
平28	石村 遼太

■ 常任委員ご不在の年度の方は、早急に常任委員を決定しご連絡ください。
 ■ 同期の方の住所等についての問い合わせや住所変更などの連絡は、事務局へお願いします。

お知らせ

**2021年8月14日(土)津山で開催予定の
 津山高校全体懇談会は中止となりました。
 総会は下記の通り行われます。**

日時 8月14日(土)13:00～
 場所 岡山県立津山高等学校百周年記念館

ホームページ委員会

ホームページ委員の交代がありました。下記メンバーで今後のホームページ・Facebookの運営をして参ります。ホームページ・Facebookに関してのご意見・ご要望等がございましたら、事務局までお寄せください。委員会で検討させていただきます。

委員長：日下康幸(平4卒)
 副委員長：堀内慎一(昭42卒)
 委員：植月雅文(昭46卒)
 小谷匠平(平11卒)
 和田有希(平22卒)
 河原正明(平27卒)
 石村遼太(平28卒)
 藤田太郎(平28卒)



〈衆楽園〉

津山・岡山県北の今を読むなら

津山朝日新聞

夕刊紙・月刊紙

津山朝日新聞社

広告・ちらし全般・自費出版

〒708-0052 岡山県津山市市町13
 TEL: 0868-22-3135 FAX: 0868-24-3184

東京作州会のご案内

本会は、東京及びその近郊における美術地域出身者の親睦を図り、故郷美術の発展に寄与することを目的としています。美術を応援する方であれば、どなたでも入会できます。

東京作州会 会長 頃安 健司
 連絡先:事務局(鶴山館)山本 電話042-422-5951

明治24年以來の歴史を刻む岡山県出身者の寮

- 冷暖房完備、広い個室、スポーツ施設併設
- 2食付で安い寮費など、学生生活環境が整っています

公益財団法人 **鶴山館**

〒202-0013 東京都西東京市中町5-10-8
 ☎042-422-5951
 URL: <http://www.kakuzankan.org/>



謹んでお悔やみ申し上げます

2020年3月から2021年2月までに文書でお知らせのあった方のみを掲載しています

昭和14年卒 中井 慶子様	昭和24年卒 田口 勝彦様	昭和30年卒 石原 泰男様	昭和38年卒 小林 隆彦様
昭和14年卒 額田 初枝様	昭和24年卒 山口 雄造様	昭和30年卒 今岡 正利様	昭和40年卒 岩佐 英彦様
昭和20年卒 大月桂太郎様	昭和25年卒 川内 浚補様	昭和33年卒 影山 三郎様	昭和41年卒 山本 一行様
昭和22年卒 石山 文雄様	昭和25年卒 高橋 陽一様	昭和33年卒 河田 伸裕様	昭和41年卒 藤田 育枝様
昭和22年卒 後藤 廣子様	昭和26年卒 船曳 哲郎様	昭和35年卒 高本 征治様	昭和44年卒 小林 啓子様
昭和22年卒 廣本美智子様	昭和26年卒 小林 寛子様	昭和36年卒 矢野 宏司様	昭和50年卒 山本 博文様

2021年度関東同窓会総会・懇親会について

2021年9月25日(土)に開催予定の関東同窓会・懇親会は今年度も対面式での開催は中止になりました。

総会は書面による開催とともに9月25日にオンラインによる開催をします。オンラインでの総会終了後、希望者によるオンライン懇親会も行いますのでご参加ください。詳細はホームページ・Facebookに掲載します。

関東同窓会ホームページにご登録下さい

名簿管理は、今後ホームページを中心とした形に移動していく予定です。住所変更等の諸変更もホームページからできます。登録は「入会案内」から入ってください。

新入生歓迎の集いが開かれました

5月15日(土)午後2時～4時30分、新入生歓迎の集いがオンラインで開催されました。学生10名(新入生9名・2年生1名)に社会人16名が加わり、バイトや留学、住まい等々新入生から出された質問に対して、先輩たちから様々なアドバイスがなされました。新入生は全員一人暮らしで、コロナ禍により殆ど登校が出来ない為、友人も作れず、寂しい思いで過ごしていることが分かりました。

同窓生間の絆を強くする必要性を感じる集いでした。



同窓会費納入のお願い

本同窓会は皆様に納入していただいている会費で運営されております。会費納入をしてくださる同窓生の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、本会の安定的な運営ができますよう会費の納入を引き続きよろしくお願いいたします。

作品展への出品のお願い

今年度の関東同窓会は残念ながら中止となりましたが、来年度の皆様の出品をお待ちしております。(絵画・書画・陶器)

関東同窓会だよりの広告募集

関東同窓会だより7号の広告を募集いたします。皆様からの協賛をお待ちしております。

- サイズ：横6.2cm×縦3.8cm
- 協賛金：一口5,000円
- 申し込み締め切り：2021年12月31日
- 申し込み先：事務局 TEL 080-9985-8892

編集後記

表紙の右下にあるQRコードにお気づきですか。リニューアルしたホームページのQRコードです。皆さんスマホで読み取ってください。母校を俯瞰した風景そして関東同窓会だよりのアーカイブも創刊号より載っています。63年前の5月26日に東京同窓会は大手町で450名が集い盛大に行われたそうです。会長は東芝の矢吹貞夫氏、副会長は朝日新聞美土路社長、幹事長は早島産経新聞社長、津山市長、同窓会長、校長が参列したそうです。

今年「新入生歓迎の集い」がZOOMミーティングで開かれました。参加者から「東京生活を始めた頃の記憶がよみがえる。授業で答えをマルバツで問われ「ペケです」と答えてしまった、1万円を「めえーでください」と言って両替出来なかった。夏休み新幹線から乗り継ぎ津山線で帰った時は不思議体験をした。東京弁から徐々に方言の身体に変わっていく津山に降り立った時には完璧な方言に戻っていた一などなどの体験談が出されました。(2021.5.26 山本大)

編集委員

編集委員長：水田潤子(昭46卒)

編集委員：竹内妙子(昭36卒) 堀内慎一(昭42卒) 植月雅文(昭46卒) 永松呉葉(昭48卒) 山本大(昭49卒) 松田匡司(昭54卒)

日下ゆりあ(平3卒) 國井美由紀(平4卒) 小谷匠平(平11卒) 和田有希(平22卒)

オブザーバー：片岡廣治郎(昭35卒) 泉昭正(昭37卒) 中島純三(昭42卒) 日下康幸(平4卒)

表紙題字：光井一輝(平27卒)

津山高校関東同窓会だより 第6号 2021年 発行人 増田美子